

## 2024-2025シーズン

### フィギュアスケート国際競技会 派遣選手選考基準

国際競技会派遣選手は、以下の選考基準に従い、強化部において候補を決定し、フィギュア委員会及び理事会、選考委員会の承認を経て確定するものとする。選考にあたり全日本選手権開催週にグランプリファイナル終了時点までの選考基準上の対象選手を公開する。各選考対象競技会の選考にあたり選考基準上の該当数、および該当項目内の点数・順位を加味し、上記手続きの基に選考を進める。

#### 1. 世界フィギュアスケート選手権大会

(男女シングル・ペア各3枠・アイスダンス1枠)

##### (1) 男女シングル

- ①全日本選手権優勝者を選考する。
- ②以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して1名選考する。
  - A) 全日本選手権2位、3位の選手
  - B) ISU グランプリファイナル出場者上位2名
  - C) 全日本選手権終了時点での ISU シーズンベストスコア上位3名
- ③以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して、上記①②で選考された選手を含め、3名に達するまで選考する。
  - A) ②のA) B) C) に該当し、②の選考から漏れた選手
  - B) 全日本選手権終了時点での ISU ワールドスタンディング上位3名
  - C) 全日本選手権終了時点での ISU シーズンワールドランキング上位3名
  - D) 全日本選手権までに派遣した国際競技会、および強化部が指定した国内競技会<sup>\*1</sup>における総合得点の最も高い2試合<sup>\*2</sup>の平均得点の上位3名

##### (2) ペア・アイスダンス

以下のいずれかを満たす組から総合的に判断して選考する。

- A) 全日本選手権優勝組、2位、3位の組
- B) 全日本選手権終了時点での ISU ワールドスタンディング最上位組
- C) 全日本選手権終了時点での ISU シーズンベストスコアの最上位組

※ 最終選考会である全日本選手権への参加は必須である。(補欠の選考はこれに限らない)  
ただし、過去に世界フィギュアスケート選手権大会3位以内に入賞した実績のある選手が、けが等のやむ

を得ない理由で全日本選手権へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、世界フィギュアスケート選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

## 2. 四大陸フィギュアスケート選手権大会

(男女シングル・ペア・アイスダンス 各3枠)

### (1) 男女シングル

全日本選手権終了時に、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して選考する。

- A) 全日本選手権 10 位以内
- B) 全日本選手権終了時点での ISU ワールドスタンディング上位 6 名
- C) 全日本選手権終了時点での ISU シーズンワールドランキング上位 6 名
- D) 全日本選手権終了時点での ISU シーズンベストスコア上位 6 名
- E) 全日本選手権までに派遣した国際競技会、および強化部が指定した国内競技会\*<sup>1</sup>における総合得点の最も高い 2 試合\*<sup>2</sup>の平均得点の上位 6 名

※ 最終選考会である全日本選手権への参加は必須である。(補欠の選考はこれに限らない)  
ただし、過去に世界フィギュアスケート選手権大会 3 位以内に入賞した実績のある選手が、けが等のやむを得ない理由で全日本選手権へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、四大陸フィギュアスケート選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

### (2) ペア・アイスダンス

国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

- ※ 最終選考会である全日本選手権への参加は必須である。
- ※ 四大陸フィギュアスケート選手権出場に必要なミニマムポイントを取得していない組については、国際競技力を考慮した上で、必要に応じて、ミニマムポイント取得競技会に派遣をする。

## 3. 世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会

(男女シングル各3枠・ペア・アイスダンス各1枠)

※ 選考選手の最終決定は、全日本選手権時に開催される選考委員会にて決定される。

### (1) 男女シングル

- ①全日本ジュニア選手権大会優勝者を選考する。
- ②ジュニア対象年齢で派遣希望のある選手の中で、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して、上記①で選考された選手を含め 3 名に達するまで選考する。
  - A) 全日本ジュニア選手権大会 2 位、3 位の選手
  - B) ISU ジュニアグランプリファイナル出場者
  - C) 全日本選手権参加者のうち上位 3 名
  - D) 全日本選手権終了時点での ISU シーズンベストスコア上位 3 名

- E) 全日本選手権までに派遣した国際競技会、および強化部が指定した国内競技会\*<sup>1</sup>におけるジュニアカテゴリーの総合得点の最も高い2試合\*<sup>3</sup>の平均得点の上位3名

- ※ 最終選考会である全日本選手権への参加は必須である。(補欠の選考はこれに限らない)  
ただし、過去に世界ジュニア選手権大会3位以内に入賞した実績のある選手が、けが等のやむを得ない理由で全日本選手権へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、世界ジュニア選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。
- ※ 候補選手となるには、当該年度のいずれかの競技会にて、当該年度ジュニアショートプログラムのジャンプ課題を実施し、十分な得点を獲得できる実力を示していることが必要である。

## (2) ペア・アイスダンス

国際的な競技力を考慮し、総合的に判断して選考する。

- ※ 最終選考会である全日本ジュニア選手権大会への参加は必須である。
- ※ 四大陸フィギュアスケート選手権の翌週が世界ジュニア選手権でありスケジュールが重複するため、男女シングル・ペア・アイスダンス共に、世界ジュニア選手権代表選手は四大陸フィギュアスケート選手権代表選手を兼ねることはできない。

## 4. ISU ジュニアグランプリシリーズ

(ISU より提示された出場枠による)

男女シングル・ペアは2024年6月末に開催する派遣選考会において、選考会課題・演技・国際競技力を総合的に考慮して選考する。

## 5. 第9回アジア冬季競技大会

(男女シングル各2枠・ペア・アイスダンス各2枠)

※エントリー期日が10月下旬までとなったため、以下に変更する。

※以下の内容は、~~エントリー期日が全日本選手権前であった場合の選考基準となる。~~

~~—エントリー期日が全日本選手権後となった場合、全日本選手権を最終選考会とし、選考基準を四大陸フィギュアスケート選手権大会と同基準とする。~~

下記(1)の条件を満たした候補選手の中で、(2)の選考基準の国際競技力を総合的に判断し、内定選手含め男女シングル正選手各2名・補欠選手各2名、ペア・アイスダンス正選手各2組に達するまで選考し、フィギュア委員会へ推薦する。なお、昨年度世界フィギュアスケート選手権において表彰台獲得選手が出場を希望した場合、正選手として内定する。

### (1) 第9回アジア冬季競技大会候補選手

候補選手指定のために、昨年度強化部が提示した基準を満たし、当該競技会に出場意思を示した選手。

#### 「男女シングル」

- ・ 第9回全日本フィギュアスケート選手権大会 ~~2-4-1~~ 2位以内
- ・ 第9回全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会 ~~1-0-8~~ 位以内
- ・ 第73回全国高等学校スケート選手権大会 ~~6-3~~ 位以内
- ・ 第96回日本学生氷上選手権大会 3位以内
- ・ 強化部が候補選手と認めた選手

#### 「ペア・アイスダンス」

- ・ 第9回全日本フィギュアスケート選手権大会 3位以内
- ・ 第9回全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会 1位
- ・ 世界フィギュアスケート選手権大会 2024 代表選手

#### (2) 選考対象選手

第9回アジア冬季競技大会候補選手の中で、内定選手を除き、~~以下の基準を満たした選手から、~~下記各競技会で対象選手が獲得した総合得点を比較した上で、国際競技力を総合的に判断し、選手を選考する。

#### 「男女シングル」

~~下記各競技会のいずれかで対象選手が獲得した総合得点を比較し、成績上位の者8名~~

- ~~→ グランプリシリーズの各対象選手にとっての出場第1戦目~~
- ・ チャレンジャーシリーズの各競技会
- ・ アジアンオープントロフィー
- ・ 各ブロック大会シニアカテゴリー
- ~~→ 東西日本選手権~~

#### 「ペア・アイスダンス」

- ・ チャレンジャーシリーズの各競技会
- ・ ジュニアグランプリシリーズ (ペアのみ)
- ・ 第93回全日本選手権大会アイスダンス予選会 (アイスダンスのみ)

※~~選考会対象選手となるためには、~~選考された正選手・補欠選手は、指定期日に第9回アジア冬季競技大会派遣前チェックを受けることが必須である。

※選考された選手は、第9回アジア冬季競技大会候補選手を辞退して、他の大会に出場する事は認めない。

## 6. 2025 ワールドユニバーシティーゲームズ

(男女シングル各3枠)

下記(1)の条件を満たした候補選手の中で、(2)の選考基準の国際競技力を総合的に判断し、内定選手含め男女シングル正選手各3名・補欠選手各3名に達するまで選考し、フィギュア委員会へ推薦する。選考にあたっては正選手の優先順位を定め、FISUから枠が削減された場合には、優先順位の上位から正選手とす

る。なお、昨年度世界フィギュアスケート選手権において表彰台獲得選手が出場を希望した場合、正選手として内定する。

(1) ワールドユニバーシティーゲームズ候補選手

候補選手指定のために、昨年度強化部が提示した基準を満たし、当該競技会に出場意思を示した選手。

「男女シングル」

- ・ 第92回全日本フィギュアスケート選手権大会24位以内
- ・ 第92回全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会10位以内
- ・ 第73回全国高等学校スケート選手権大会6位以内
- ・ 第96回日本学生氷上選手権大会3位以内
- ・ 強化部が候補選手と認めた選手

(2) 選考対象選手

ワールドユニバーシティーゲームズ候補選手の中で、内定選手を除き、以下の基準を満たした選手から、国際競技力を総合的に判断し、選手を選考する。

下記各競技会のいずれかで対象選手が獲得した総合得点を比較し、成績上位の者6名

- ・ グランプリシリーズの各対象選手にとっての出場第1戦目
- ・ チャレンジャーシリーズの各競技会
- ・ アジアンオープントロフィー
- ・ 東西日本選手権

※選考会対象選手となるためには、指定期日にワールドユニバーシティーゲームズ派遣前チェックを受けることが必須である。

※選考された選手は、ワールドユニバーシティーゲームズを辞退して、他の大会に出場する事は認めない。

## 7. 世界シンクロナイズドスケーティング選手権大会

(1 枠)

以下のいずれかを満たすチームの中から国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

- A) 全日本シンクロナイズドスケーティング選手権大会優勝チーム
- B) 全日本シンクロナイズドスケーティング選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコア上位1チーム (B級戦国際競技会のスコアを含む)
- C) 全日本シンクロナイズドスケーティング選手権大会までに、強化部が指定したチャレンジャーシリーズ競技会に出場した上位1チーム

※ 最終選考会である全日本シンクロナイズドスケーティング選手権大会への参加は必須である。

※ 原則として当該競技会にエントリー・出場するにあたり、最終選考会である全日本シンクロナイズドスケーティング選手権大会にエントリーした選手 (補欠含む) と同一の選手でなければならない。

## 8. 世界ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会

(1 枠)

以下のいずれかを満たすチームの中から国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

- A) 全日本ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会優勝チーム
- B) 全日本ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコア上位 1 チーム（B 級戦国際競技会のスコアを含む）
- C) 全日本ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会までに強化部が指定した チャレンジャーシリーズ競技会に出場した上位 1 チーム

- ※ 最終選考会である全日本ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会への参加は必須である。
- ※ 原則として当該競技会にエントリー・出場するにあたり、最終選考会である全日本ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会にエントリーした選手（補欠含む）と同一の選手でなければならない。

## 9. その他の国際競技会派遣

その他の国際競技会については、事前に調査した上で強化方針に沿って選考する。

### ◆感染症等の影響による選考基準変更の可能性について

- ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、新型インフルエンザ等対策特別措置法その他の法令による公的な規制により、選考基準上の対象競技会が延期・実施されない、または派遣できず選考基準の項目を満たせなくなった場合、該当する選考基準項目に関して、再度選考基準および前提条件を設定する。

### ◆感染症による体調不良、感染拡大防止のための出場辞退等に対する対応

- ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、新型インフルエンザ等対策特別措置法その他の法令による公的な規制により、体調不良・感染拡大防止のための出場辞退、その他感染症に関連する特段の事情により全日本選手権を欠場した選手については、今シーズン派遣した国際競技会、および強化部が指定した国内競技会\*1における成績を上記選考基準に照らして評価し、大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

### ◆選考基準における補足事項

- ・各選考基準において、『上位』と記載のある選考項目については、対象資格・対象年齢に満たない選手及び優先する選考項目で選考済みの選手は除外し、繰り上げて対象とする。  
『順位』で指定されている選考項目に関しては、繰り上げは行わない。
- ・補欠の選考に関しては、正選手選考項目に定める成績またはこれに準じる成績の者の中から、最終選考会時点の競技力や将来性を考慮し、総合的に判断して選考する。
- ・ISU が出場のためのミニマムポイントを設定している競技会派遣選考に際し、最終選考会時点で当該競技会のミニマムポイントを持っていない選手・組は、ISU の定める獲得期限日までにミニマムポイント獲得することを条件として選考することがある。
- ・当該国際競技会の派遣において、十分な国際競技力が無いと判断された場合には、

派遣枠を満たさない選考を決定する場合がある。

- ・フィギュア委員会が定める派遣基準点、および派遣基準点獲得可能な指定競技会について、ペア・アイスダンスは全日本選手権・全日本ジュニア選手権大会各予選会前に提示する。

---

〈注釈事項〉

- \*1 強化部が指定した国内競技会とは、以下を指す。
    - ・東日本選手権、西日本選手権、東日本ジュニア選手権、西日本ジュニア選手権
    - ・全日本ジュニア選手権
  - \*2 本項目の総合得点は、シニアカテゴリーの総合得点に加え、ジュニアカテゴリーの総合得点も対象とする。  
対象競技会 1 試合しか出場していない選手は本項目の対象外とする。
  - \*3 本項目の総合得点は、ジュニアカテゴリーの総合得点のみを対象とする。  
当該シーズンシニアカテゴリーのみ参戦している選手は、本項目は対象外となる。  
また、対象競技会 1 試合しか出場していない選手は本項目の対象外とする。
-